

かねだ 勝年

景気対策特集号

自由民主
LIBERAL & DEMOCRATIC



発行所
自由民主党本部
郵便番号100-8910
東京都千代田区永田町1-11-23
電話 東京03(3581)6211(代表)
振替口座 東京00180-1-19518
定価1部105円(税込み)
<毎週火曜日発行>

自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

郷土に活力、生活に安心!



自民党は直面する経済危機に対処するため、国費15兆円を超える過去最大の経済対策の実現、実施に全力をあげています。景気の底割れを防ぎ、この3年間に未来への投資を集中的に行うことで、日本経済を着実に反転させていく戦略です。その先頭に立って活動する自民党秋田県第二選挙区支部長のかねだ勝年さんを集めます。

秋田に春がきました。厳しい冬に耐えて咲くこの花のように、着実な景気対策の実行により、この地域に明るさをもたらしたい——かねだ勝年は日々そう考え活動を続けています。

自由民主党秋田県第二選挙区支部長

かねだ 勝年さん

かねだ勝年の決意

今、日本全体もそうですが、この秋田2区も、経済・社会・生活あらゆる面で厳しい環境にあります。



この苦しい辛い思いをしつかりと国政に反映させ、現場感覚と実感をもって「安心と活力」の地域を作り上げていきたい。地域社会の良さを守る！一人一人の幸せを守る！そのためにかねだ勝年は、皆さまとともに全力で働きます。

☆農林漁業の再生

他産業並みの所得確保を目指し、「日本の食糧基地としての秋田」米で暮らせる秋田」を実現しよう!



☆老後を守り、子どもから大人まで安心して暮らせる社会の確立

世界一の長寿国日本の中で、秋田を模範的な「高齢先進県」にしよう!



☆大胆な景気対策による地域社会の明るさと活力の復活・雇用確保

日沿道の整備を促進し、県北エコタウン構想により21世紀型産業モデルを発信しよう!



☆情熱と実行力で政治を改革し、信頼と分かりやすい政治を取り戻します

かねだ勝年さんプロフィール

昭和24年10月4日、当時旧昭和町(現湯上市)にあった東北電力大久保発電所に勤務していた父と、終戦後シベリアで捕虜になり命からがら帰ってきた父を不安の中で待ち続けた母の間に生まれる。

苦学して秋田高校・一橋大学卒業後、21年間大蔵省に勤務。

予算を担当する大蔵主計官のときに、ふるさとへの想い断ち難く、妻・長男とともにAターン。全県選挙区の参議院議員を12年間務める。

この間、農林水産政務次官、厚生労働委員長、外務副大臣などを歴任。

かねだ勝年事務所 ~お気軽にお立ち寄り下さい~

鹿角	〒018-5201	鹿角市花輪字上中島63	TEL0186-30-0170
大館	〒017-0846	大館市常盤木町4-8	TEL0186-42-7026
能代	〒016-0843	能代市中和1-16-2	TEL0185-54-3000
湯上	〒010-0201	湯上市天王字御休下7-1	TEL018-872-2300

ホームページ <http://www.kaneda-k.com>

Eメール info@kaneda-k.com

“新かつしコラム”のコーナーで毎日の活動をご覧頂けます。



大胆に、速やかに。

国費15兆円の過去最大「経済危機対策」

健康・子育て・暮らし

- 地域医療再生基金を創設し、医師確保対策を推進
- 子宮頸がんと乳がん検診の無料クーポンを配布
- 1人当たり平均月額1万5千円相当を事業者に助成し介護職員の処遇を改善
- 安心子ども基金を拡充し、保育サービスの充実や母子家庭を支援
- 子育て応援特別手当(3歳～5歳 年3万6千円)を第一子まで拡大
- 高齢者の保険料等負担の軽減継続
- 障害者自立支援の充実
- 授業料の支払いが困難な学生に対する経済的支援
- 住宅取得のための贈与税の減税拡充(非課税枠を500万円上乘せ)



農林水産業・地方の活性化

- ◆ 「農業・林業・水産業」に再び誇りを！
1兆302億円の予算を確保
- すべての意欲ある農林水産漁業者に、経営安定と所得増大のための直接的な各種の支援を実施
- 水田フル活用、地域農業農村の再生・活性化を支援
- 土地改良負担金の軽減対策
- 流通加工への支援・農商工連携強化
- CO₂吸収源としての森林整備・花粉症対策
- わが国周辺漁場の生産力の向上・育成
- 水産業の生産性向上の施設・設備の導入加速化・就業拡大
- ものづくり基盤技術と中小企業支援強化
- 人を集めるふるさと街づくりと賑わい活性化策
- 地域交通の革新と充実
- 世界有数の観光地の形成を推進



環境・低炭素革命

- ◆ 世界経済を牽引する省エネ・エコロジー産業の育成
- 校舎のエコ化、耐震化、ICT化など「スクール・ニューディール」の推進
- 太陽光発電電力の新たな買い取り制度を創設
- 環境対応の新車購入に10万円、13年以上の古車の買換えに25万円を補助
- エコポイント(価格の5%)の活用などでグリーン家電の普及の加速。テレビについてはさらに5%上乘せ

雇用・金融・中小企業

- 雇用調整助成金をさらに拡充(中小企業への助成率を8割から9割に、年1人当たり最大45万円のワークシェアリング支援も)
- 職業訓練期間中に月10万～12万円の給付と貸付(上限8万円)を行う「訓練・生活支援給付」を実施(緊急人材育成・就職支援基金)
- 雇用と住居を失った人への「つなぎ資金」貸付(10万円以内)や住宅手当、生活資金融資などを支援
- 緊急雇用創出事業の基金積増し(3,000億円)などによる地方の雇用創出
- 中小企業向け緊急保証枠の拡大(20兆円を30兆円に)
- 中小企業向けセーフティネット貸付の拡大(10兆円を15.4兆円に)

21世紀型インフラ整備と地方支援

- 都市圏環状道路や地方道などの未連結の解消
- 羽田空港の容量拡大など交通ネットワークを整備
- 2,700億円の基金で世界最先端の研究開発支援
- リーディング産業の競争力強化
- 企業の研究開発税制の拡充(税額控除の限度額を法人税額の2割から3割に引上げ)
- 超電導リニアなど低炭素交通や物流インフラの革新
- 整備新幹線の着実な整備
- ブロードバンドゼロ地域の解消など情報インフラの整備
- 地方財政支援と地元企業の優先活用



詳細は党ホームページへ